

議 案 提 出 書

件 名 長野県短期大学の4年制化に関する意見書（案）

上記の議案を別紙のとおり、長野市議会会議規則第14条第2項の規定により提出します。

平成24年6月21日

長野市議会議長 柘 津 栄 喜 様

提出者 長野市議会 産業振興対策特別委員会
委員長 原 田 誠 之

長野県短期大学の4年制化に関する意見書（案）

長野県においては、新たな県立4年制大学の開設準備のため、4月に県立大学設立準備室を設置し、5月には、第1回設立準備委員会を開催したところであります。

卒業生、また長野市としても長年の悲願であった4年制大学の実現に向け、大きく一步前へ踏み出しました。長野市議会として大いに歓迎するものであり、長野県の高等教育が一層充実されることに大きな期待を寄せております。

新たな公立4年制大学の転換に際しましては、次のような大学像を望んでいきます。

初めに、近年、長野市のみならず、長野県では、少子高齢化や人口減少の進行に伴い、地域活力の低下が懸念されております。また、中山間地域や農山村の衰退、中心市街地の空洞化、コミュニティの崩壊など、様々な課題に直面していることから、これらの地域が抱える課題解決に向けた人材が必要と考えます。

また、豊富な自然環境を生かした農林業の振興、再生可能エネルギーの導入、地域観光資源の活用など、長野県の強みを生かした活力ある地域づくりを進めるために主体的に関わることのできる人材も同様です。

その実現には、キャンパスは地域という考えに基づき、フィールドワークを通じて、地域を知り、また地域を考えるとといった地域密着型の人材を育成できる学部学科を新たに設置することが考えられます。

これは、地域づくりの一役を担っていただくとともに、行政と連携しながら、地域が抱える課題解決に資する教育・研究を行うことにより、シンクタンクとしての役割も期待できます。

大学の規模としては、より多くの優秀な学生が輩出されることが望ましいと考えますが、既存施設の有効活用をするなど、過度な県民負担の増加とならないことが重要です。

最後に、現在の長野県短期大学が担っている栄養学や幼児教育などの学科については、82年という長い歴史と伝統を築かれた多くの卒業生の皆さんの意向への配慮も忘れてはなりません。

長野市の人口規模は県内随一であり、また冬季オリンピック開催都市であることから、その名は県内外に知られております。こうした環境は、人口減少が進行していく中においても、大学が持続的に発展する上で最大のメリットであると思っております。

つきましては、長野県におかれては、新たな公立4年制大学の基本構想を策定するに当たり、下記の事項について、最大限反映されることを強く要請し、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

記

- 1 設置場所及び運営等について、長野市議会としても積極的な協力をしていく所存であり、設置場所については、既存施設の有効活用をするとともに、新たな場所が必要になった場合は、長野市内において適切な場所を検討していただきたい。

- 2 新たな学部学科を設置する際には、地域政策の観点から地域が抱える課題解決のための企画立案ができる人材や長野県自然环境などを生かした地域づくりに主体的に関わることができる人材の育成に重点を置いた内容としていただきたい。
- 3 学生の定員については、過度な県民負担の増にならぬよう十分考慮していただきたい。
- 4 基本構想の策定の過程においては、学識経験者や卒業生を含め、広く県民の意見を聴くとともに、長野県短期大学の本部所在地である長野市との協議を積極的に行っていただきたい。

平成24年6月22日

長野県知事 宛

長野市議会議長 柘津栄喜